

スクリプト自動運転のためのNゲージミニレイアウト製作記

ー軌道敷設編 1ー

2018/04/01 ima3

はじめに

Nゲージミニレイアウトに製作着手して1年半程経ちますが、見切り発車したため想定通りに行かずに問題対応と改善案盛込みで1歩前進3歩後退と言った状況です。

現在は仮開業での初歩的な単行スクリプト運転を行った結果の問題点を対策しております。(フィーダー・センサー制御部へ集中する配線引回し改善案の検討中です。)

製作取組の動機

当鉄道は自称?「新日本鉄道 東村山運転所」と申しまして車両は16番/H0主体ですが、鉄道敷地の確保難から運転所ならぬ運休所となっております。

このストレスの憂さ晴らしに足を洗った筈のNゲージでトラムの卓袱台運転に手を染め、その後Yaasan様とフジガヤ2様のスクリプト運転の解説記事を拝読して自分でもセンサーを使って初歩の初歩を始めようと取組む内に自動運転の面白さに開眼させて頂きました。(スクリプト運転のお初はH0でエンドレスでのタイマーによる正逆運転でした。)

マスコンで車両を運転するのも運転手気分が良いのですがポイント切換しながらDCCサウンドをフル活用するのは皿回しの曲芸よりシンドイと思いますし、スクリプトを組むのは敷居が高いですが出来上がれば想定通り動いた自己満足と走行車両をまったりと眺める楽しみが得られます。

前置きが長く成りましたが、卓袱台に敷いた線路配置を固定化しセンサーを設けてスクリプト自動運転を習得して何時の日か16番/H0運転に展開したいと思っております。

ミニレイアウトのコンセプト

1. 卓袱台に載せて冬でも炬燵で安楽運転出来る600*900のパネル(大昔購入)を採用。
2. 線路はTOMIXミニカーブレール使用、エンドレスと留置線のシンプルなもの。
3. R140通過条件とし小型車両を中心としたアナログ車両を対象とする。
4. 2車両を個別に制御すべく2つの据置デコーダーを10セクション選択切替運転する。
5. バスコレを組込んでコラボ運転(踏切・交差点)の実現を将来目指す。
6. ジオラマはトミテック製品を用いてほどほどにまとめ、電飾までいければと……。
7. 蛇足ですが「新日本鉄道 松ヶ谷軌道線」と称し生まれ故郷の地名を拝借しました。

松ヶ谷軌道線の妄想案内(写真1.1~1.4を参照ください。)

手持ちのトミテック建コレを仮置きしましたのでイメージでご案内致します。

1. 検査用1線、留置用2線の車庫から関ノ下駅2番線に入線します。
2. 下り方面へ出発し農家と畑の間を右手カーブ後火の見やぐらを手左に見て直進し踏切

を越えるとポチャ池を中心とした桜並木を見下ろしながら築堤を進行し鉄橋を渡るとR140の急カーブを桜並木に挟まれて大きく左にまがると横町の商店街が見えて来ます、その狭い横町通りを通り抜けると関ノ下駅に到着です。

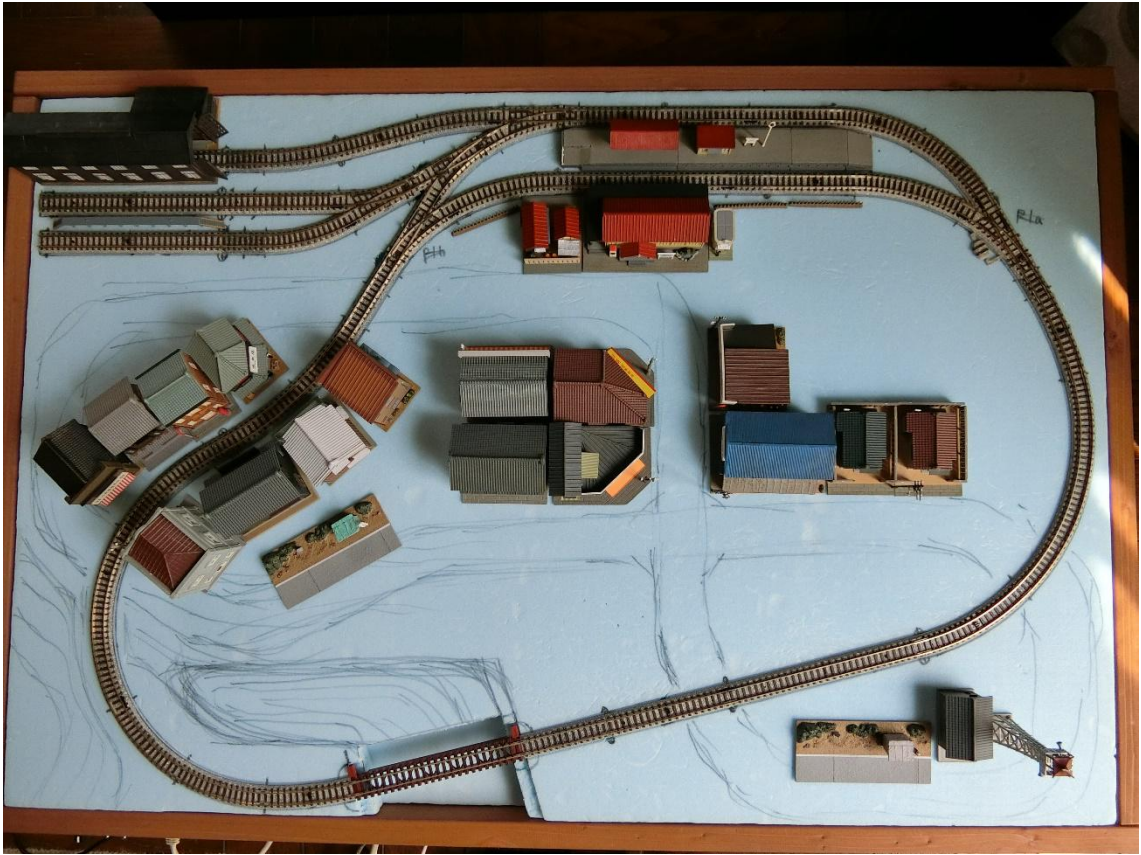
3. 当駅では上り下りの入替、車庫との入・出庫、縦列停車による車両入替と多様な作業があり、ホームで音声合成による案内を致します。

4. また当駅にはバスコレが乗り入れ予定で、8の字循環運転を致します。

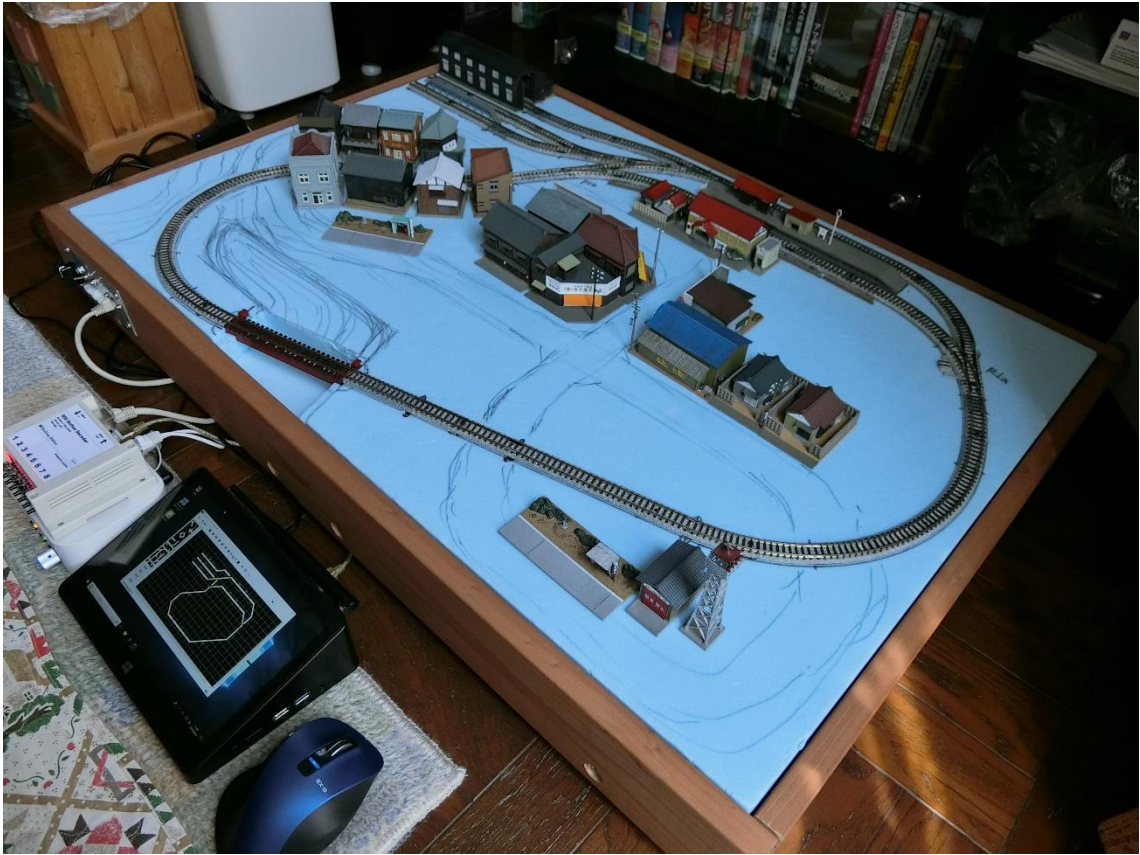
関ノ下駅停留所を出発したバスは駅前通りを直進し踏切を渡ると左折し火の見やぐら下停留所に到着、次に左折後踏切通過し佐倉通りに出ます。駅前通りを横切り進むと八鶴湖前停留所へ到着、再び出発し横町通りを横切り電車庫沿いに走ると関の下駅到着です。



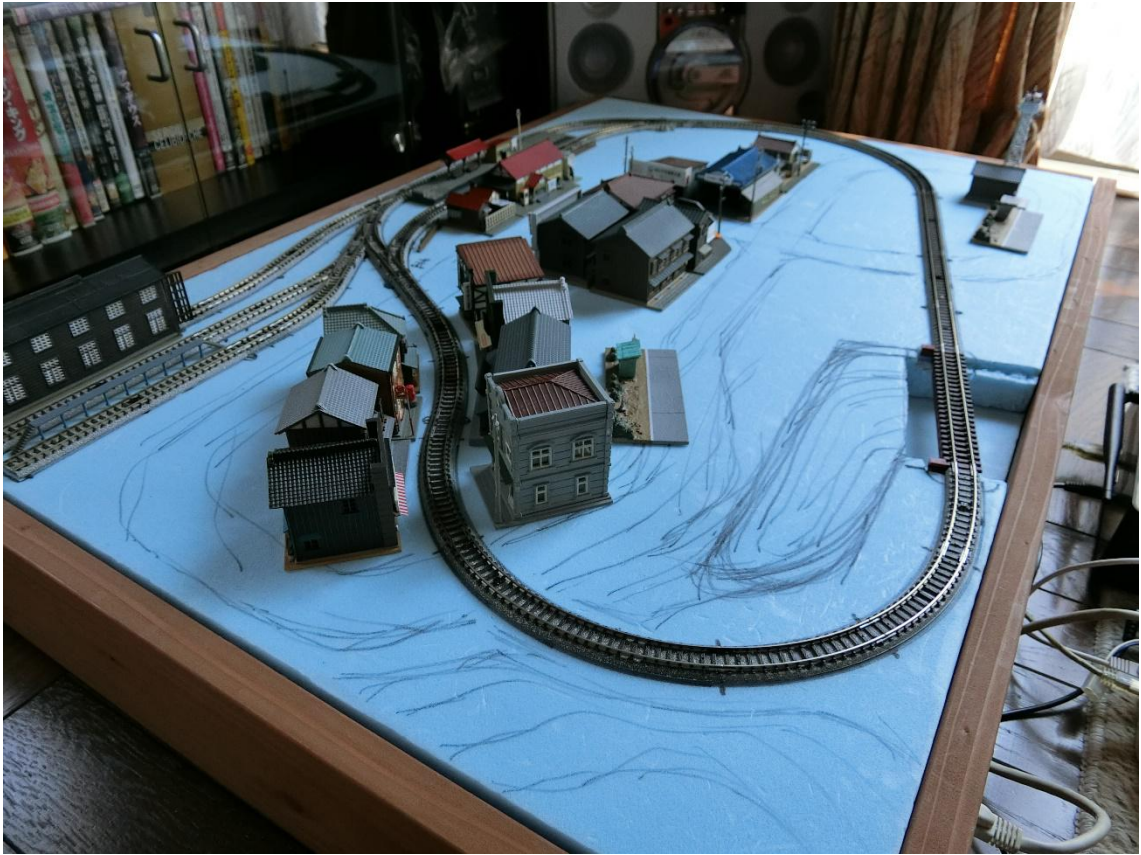
1.1 全景正面



1.2 全景上面



1.3 全景右斜め



1.4 全景左斜め